

C1240486 押切玲奈

私は、これまで以上に利用したくなる図書館を作るために、もっと複数人で勉強できるスペースを作る案を挙げる。いくつかある図書館の利用をしづらい理由として、「複数人での勉強をしづらい」という項目に注目した。

私は、小学校、中学校、高校と図書委員会に所属していて、勉強をする場所というより、本を借りる場所、本を読む場所というイメージが強いと感じた。また、図書館は、静かにしなければならないイメージがあり、グループで勉強することを遠慮してしまうことが多い。委員会では、図書館で勉強しようと呼びかけをし、友人を図書館での勉強に誘ってみたが、結局図書館で勉強する人が増えなかった。元より、勉強する以前に、本を借りに来る人、図書館に来る人は少なかった。来たとしても、いつもくる人は同じ人であり、新しく図書館に来る人を増やすことが出来なかった。

その経験から、複数人で勉強できる場所を作ること、図書館にくる人を増やせると感じた。図書館で本を読む人、借りる人を増やすより、勉強する人を増やす案を挙げた理由は、本を借りる時間はさほど時間がかからず、図書館の滞在時間が短いと考えたためである。同様に本を読む人は、図書館で読むより、自分の家で読む人が多いと考え、図書館で本を読む人を増やしづらいと考えたからである。だが、図書館で勉強する人は、図書での滞在時間が長く、さらに、複数人で勉強をすることで、図書館に来る人を増やすことが出来るのである。

図書館には、eラーニング室という場所があるが、図書館の人に許可を取らなければならないため、気軽に利用することが出来ない。また、eラーニング室は1グループが入ることが出来るほどの広さしかないため、皆が複数人での勉強が出来ないのである。

上記でも述べたとおり、私の経験上、図書館は勉強する場所というより、本を読む場所であるイメージが多くの人に残っており、図書館で勉強したとしても、図書館は静かにしていなければならないため、友達と教え合いながらの勉強をしづらいことも、図書館に来る人が少ない原因の一つだと感じる。もっと気軽に複数人で勉強できるグループ学習室を作ることで、この原因を無くすことが出来る。

今まで、複数人で勉強できる案を挙げてきたが、その空間が使われなければ、意味がないため、図書館は本を借り、本を読む場所から、複数人で勉強出来る場所へとイメージを変えることが大切である。